

令和 7 年度 地域連携推進会議 議事録

事業所名	障害者支援施設 蓮の実園・蓮の実団地			
開催日時	令和 7 年 11 月 21 日（金）10：30～13：00			
開催場所	蓮の実団地会議室			
出席者	構成員	人数	構成員	人数
	蓮の実園利用者	1 名	福祉に知見のある人	2 名
	蓮の実団地利用者	2 名	経営に知見のある人	1 名
	蓮の実園利用者家族	1 名	市町村担当者等	1 名
	蓮の実団地利用者家族	1 名	事業所職員	6 名
	地域の関係者	1 名	欠席：地域の関係者	1 名
議 題	①理事長挨拶 ②会議の目的説明 ③構成員紹介 ④施設見学 ⑤各施設からの報告、意見交換 ⑥昼食提供・6 年度行事スライドショー、法人 6 0 周年記念動画 ⑦感想 解散			
協議内容 意見等	① 理事長挨拶② 会議の目的説明 ③構成員紹介 ④施設見学 蓮の実団地 作業棟にて作業の様子を見学、作業内容について説明を行う。生活棟について食堂を挟み男性棟、女性棟に分かれ、それぞれに一人部屋、二人部屋、短期入所 2 室、八女地区障害者地域生活拠点事業の緊急一時宿泊 1 室の説明し一人部屋を見学。食堂、多目的ホール、スタッフルーム、医務室の見学、夜勤室に設置されている見守りカメラの活用状況を説明する。 蓮の実園 活動班の紹介、リハビリや季節に合わせた制作活動や自閉症棟の説明を行う。スタッフルーム、食堂、女性棟の見学を行う。 ⑤施設からの報告 蓮の実園、蓮の実団地の利用者状況（利用者数、障害支援区分、年齢、利用年数、援護の実施市町）、施設入所利用者の日中活動サービス利用状況、令和 4 年から現在までの利用者の退所状況、職員の配置状況の報告を行う。 ・勤務体制と医療的ケアの必要性について 施設の夜勤体制について説明。蓮の実団地では夜間帯、支援員 3 名と看護師 1 名の計 4 名体制で 80 名の利用者、蓮の実園では支援員 2 名と看護師 1 名の 3 名体制で 60 名の利用者を支援していることを報告。医療的ケアの必要性が増えてきており、パーキンソン病の方やストマを装着している方など、定期的な処置が必要な利用者に対応するため、夜間も看護師を配置していることを説明。この地域では先行して夜間看護師を配置しており、知的障害者施設としては先進的な取り組みであることを述べる。 ・人員配置と職員の休暇取得について 蓮の実団地では現在、産休育休の職員が 2 名おり、その代替職員の確保が課題となっていること、24 名体制で支援を行っており、職員の有給休暇取得も促進しているため、限られた人員で支援している状況を共有する。 ・施設内の安全対策と利用者間の助け合いについて			

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

高齢化する利用者のために手すりの設置などの対応を行っていることを説明。蓮の実団地が新設移転してきた当初の構造から、年々高齢化する利用者のニーズに合わせて設備を改善しているこ、利用者の自治会からの要望を受けて、職員と協議しながら必要な設備を整えているとのこと。また、利用者同士の助け合いについて、夜間に泣いてしまう利用者がおられた場合に他の利用者がナースコールで知らせてくれるなどの例を紹介する。

⑥昼食提供

昼食を共にしながら、食事の内容や食材の調達についても話題となった。魚の骨を抜くなど、利用者に配慮した調理がされていることを説明。また、米の価格高騰について、施設では委託業者とは別に米を購入していることを説明。食材費の上昇が課題となっていること伝える。

⑦感想と意見

近隣の小学校の子どもたちが施設について知る機会を持つことの重要性が指摘され、カリキュラムに組み込む取り組みが紹介された。

地域との交流については、コロナ以降、夏祭りや運動会などの交流イベントが減少していることが指摘され、今後の交流方法について検討する必要性が挙げられた。

構成員については、地域の公民館長など、より多くの地域代表者を会議に招くことで、施設への理解を深める提案があった。会議に参加して懐かしい人々と再会できたことへの喜びが聞かれた。

以上